

企画展

歌人たちの つぶやき

—近代歌人による曙覧の評価—

2025年 **11** 月 **1** 日 (土)

→ 2026年 **3** 月 **1** 日 (日)

休 館 日 月曜日 (祝日の場合は翌平日休館)、年末年始 (12/28~1/4)

開館時間 午前9時~午後5時15分 (入館は午後4時45分まで)

観 覧 料 100円 中学生以下、70歳以上、障がい者とその付添人の方は無料

※会期中、家庭の日 (毎月第3日曜日)、文化の日 (11/3)、関西文化の日 (11/15.16) は無料です

主 催 福井市、(公財)歴史のみえるまちづくり協会



福井市橘曙覧記念文学館

Fukui City Tachibana no Akemi Literature Memorial Museum

企画展

歌人たちのつぶやき —近代歌人による曙覧の評価

幕末福井の歌人^{たちばなのあけみ}橘曙覧が1868年8月28日に没した10日後に年号が「明治」と改められ、新しい時代が到来しました。短歌の世界にも新たな風が吹きはじめ、その中で注目された一人が橘曙覧でした。

短歌革新運動を行った^{まさおかしき}正岡子規は曙覧の歌集を読み、『万葉』を学んで、『万葉』を脱した歌人だと評価しました。子規が新聞『日本』に「曙覧の歌」を連載したことにより、多くの歌人たちが曙覧の作品を知ることになりました。

子規に曙覧の歌集を渡したのは、^{きききのぶつな}佐佐木信綱です。信綱も「人間性に触れた歌人」と評しました。

^{よきのてつあん ひろし}与謝野鉄幹(寛)は、父親が曙覧と親交があり、子規よりも早く作品に触れていました。鉄幹は「国詩評釈」(『明星』第2号)で子規と異なる曙覧像を示しました。

一方、歌人ではないと断言したのは^{いとうさちお}伊藤左千夫。短歌雑誌『アララギ』にその主張が残されています。

そのほかに、曙覧の歌集を「個性の発揮した歌集」と高く評価した^{くぼたうつぼ}窪田空穂、『橘曙覧全集』の後記を記し、作品を論じた^{さいとうもきち}斎藤茂吉、歌だけでなく書にも魅力を感じ、自らも独楽吟を詠んだ^{そうまぎよふう}相馬御風、尊敬して研究を深め、曙覧評伝をあらわした^{おりくちしのぶ しゃくちようくう}折口信夫(釈 迢 空)など、近代歌人たちが曙覧の作品を読み、それぞれの視点で論じています。

本展では、彼らの歌論の一部をご紹介します、明治期以降の曙覧の評価について注目します。

【交通のご案内】

- 〔JR西日本〕 福井駅より車(タクシー)で5分
- 〔すまいるバス〕 福井駅西口のりば 照手・足羽方面ゆき「愛宕坂」下車 徒歩1分
- 〔京福バス〕 福井駅西口のりば 運動公園線(道守高校先回り)または清水グリーンライン「久保町」下車 徒歩2分
- 〔自動車〕 北陸自動車道福井I.Cより 約15分

福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007 福井市足羽 1-6-34 TEL:0776-35-1110 FAX:0776-33-3933 <https://www.fukui-rekimachi.jp/tachibana/>



開館 25 周年企画 トークイベント「橘曙覧の真実」 11月22日(土) 13:30~15:30

橘曙覧の本当の姿とは?——『評伝 橘曙覧』著者であり、曙覧研究の第一人者・**角鹿尚計氏**と第一線で活躍する歌人・**武下奈々子氏**の対談によって真実の姿に迫ります。

ところ 福井市地域交流センター
(福井市立図書館内)

福井市文京2丁目7-7)

定員 60名(先着順)

参加費 500円

申込み 11/1(土)9時から申込フォーム、メール、電話、FAXにて受付

TEL:0776-35-1110

FAX:0776-33-3933

E-mail: akemi-t@do-spot.net



展示解説&曙覧さんトーク

- | | |
|-------------|---|
| 11月8日(土) | 担当学芸員が展示内容の解説を行います。曙覧に関する疑問や質問にもお答えしますので、お気軽にご参加ください。 |
| 12月21日(日) | |
| 1月24日(土) | |
| 2月8日(日) | |
| 14時~(30分程度) | |
- ※要観覧券

